



2023年3月30日

各 位

会社名 株式会社T Bグループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田三郎
コード番号 6775 東証スタンダード
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡孝一
(TEL. 03 -5684 -2321)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,900	△100	△80	△90	△8.73
今回発表予想 (B)	2,300	△280	△260	△270	△25.23
増減額 (B-A)	△600	△180	△180	△180	△16.50
増減率 (%)	△20.69	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	2,421	△280	△204	△217	△21.85

修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、第4四半期（1月～3月）売上高が、SA機器事業の新規事業であるヘルスケア分野では地方公立病院の最大需要月である3月を納入予定としていた病院向け仕様対応テレビが、専用部材の調達遅延に伴い、海外生産での協力企業及び生産工場も尽力致しましたが納期遅れとなり減少いたしました。病院向け仕様対応テレビは地上波デジタル放送開始時から一定期間経過によるリプレース時期となり買替え需要の高まりから、次年度での増収増益となる見込みです。医療分野向け Wi-Fi 設備関連等も販売不振により減少いたしました。また、電子レジスター及び POS 事業も原材料不足に伴う製品の供給不足により減少いたしました。LED&ECO 事業においても中小料飲食店向けの地方販売代理店の出荷の不振と、製品仕様の変更により粗利率の改善及び一部部材不足を解消したものの全般的な部材不足が下期にも影響し原材料不足に伴う製品の供給不足により減少いたしました。

利益面におきましては売上高の減少による粗利金額の減少により営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は当初の予想を下回りました。

以上のことから、通期連結業績予想を修正することとしました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上